

仙南地域広域観光推進プランの総括

1 仙南地域広域観光推進プランの概要

「仙南地域広域観光推進プラン」（以下、仙南プラン）は、仙南地域の広域観光推進の方向性を定め、交流人口拡大と地域経済の活性化を目指す目的で、平成 29 年度を初年度、平成 31 年度を目標（評価）年次として策定された。具体的には、3つの基本方針、9つの施策を定めるとともに、重点的取組として、①『「仙南に来たくなる」戦略的なプロモーション』、②『「来て見て楽しめる」観光コンテンツの充実』、③『「チーム仙南」として地域一体となった観光地づくり』を掲げ、各種取組を推進した。また、目標値として、①観光客入込数、②宿泊客数、③外国人宿泊客数を設定した。

2 計画期間の延長及び回復戦略の追加

仙南プランの計画期間は、「第4期みやぎ観光戦略プラン」（以下、県プラン）をはじめとした各種行政施策の計画期間や、東北観光復興対策交付金の実施期間と一致していなかったため、令和元年度に計画期間（終期）を県プランに合わせて令和2年度末まで1年延長した。その後、第4期県プランが、新型コロナウイルス感染症による影響からの回復戦略を追加して改定され、計画期間が1年延長されたことから、仙南プランも基本方針4・施策10・重点的取組④として「新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組」を追加して令和3年度末まで1年延長した。なお、目標値は計画当初の値を据え置いた。

3 計画の統合

令和3年度、第2期仙南プランについては策定せず、第5期県プランにおける「仙南圏域の施策の方向性」に統合することとした。その後、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響により、第5期県プランの策定スケジュールが当初の予定から半年遅れ、第4期県プランは再改訂4期プランとして半年再延長された。仙南プランについても、県プランと合わせて半年再延長することとし、第5期県プラン策定をもって県プラン圏域計画に統合した。

4 事業の進捗管理

令和3年度までの事業実績については、みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議において随時報告した（参考資料1）。令和4年度9月末までの事業の進捗状況については参考資料2のとおりである。

5 目標達成状況

令和3年における目標達成率は、①観光客入込数が507万人で66%、②宿泊客数が42万人泊で54%、③外国人宿泊客数が2,292人泊で5%と、いずれも新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、計画初年度の値を下回った（資料1-2）。